

第1回尾張旭市第8期障がい者計画・第8期障がい福祉計画・

第4期障がい児福祉計画策定会議会議録

1 開催日時

令和7年1月14日（金）

開会 午前10時00分

閉会 午前11時40分

2 開催場所

尾張旭市保健福祉センター4階 シアタールーム

3 出席委員

三橋真人、星原淳一、大竹利幸、林博隆、糸川利枝、安藤祐子、齊藤英昭、
近藤卓也、遠藤いづみ、竹田晴幸、村田健郎、小高京子、森内香菜江

計13名

4 欠席委員

涌田裕一

5 傍聴者数

0名

6 出席した事務局職員

健康福祉部長　臼井武男、地域福祉課長　浅野哲也、
課長補佐兼障がい福祉係長　森下亜希子、副主幹　長江奈緒子、主事　後藤拓哉、
子どもの発達センター所長　対島智美、発達支援係長　吉永智哉

7 議題

- 1 計画策定の概要について（資料1、2）
- 2 策定スケジュールについて（資料3）
- 3 アンケート調査について（資料4-1～4-4）
- 4 障がい福祉サービス事業所・関係団体等へのヒアリング調査について（資料5-1、5-2）

8 会議要旨

<開 会> 事 务 局	<p>それでは、定刻となりましたので、ただいまから第1回尾張旭市第8期障がい者計画・第8期障がい福祉計画・第4期障がい児福祉計画策定会議を開催いたします。</p> <p>本日は、ご多忙の中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>また、この度は会議のご連絡や資料のお渡しが直前となってしまい誠に申し訳ございませんでした。</p>
----------------	---

本日の会議は第1回目の会議となりますので、座長が決まるまでの間は、私、地域福祉課長の浅野が司会進行を務めさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。

まず、初めに、本日の構成員の方の出席状況につきましてご報告させていただきます。

本日の会議には、構成員14名のうち、現在は12名の方にご出席をいただいております。

一人の方、瀬戸保健所の涌田様につきましてはご都合により欠席の旨の連絡をいただいております。

もう一人、齊藤委員につきましては、少し遅れているということでございますので、よろしくお願ひいたします。

なお、本日は手話通訳者の谷本様、宮山様にお越しいただいておりますので、よろしくお願ひいたします。

次に、会議の公開についてでございます。本市におきましては、会議の公開に関する基準が定められておりまして、個人のプライバシー等にかかる部分を除き、会議は原則、公開することとなっております。本会議におきましても、この基準に基づき、公開としておりますので、ご承知おきください。

なお、会議開催につきましては事前にホームページでお知らせをしております。また、会議の傍聴も5名まで可能としております。

本日は、傍聴の方はお見えになりません。

また、構成員の名簿につきましても公開となっておりますので、お名前と所属団体のみでございますが、ホームページに掲載させていただいております。

なお、本日の議事録につきましても、後日ホームページで公開をいたしますので、あわせてご承知おきください。

次に、本日の会議資料の確認をさせていただきます。

なお、資料につきましては、事前にお渡ししたものと、本日、机上にて配付したものがございます。

事前にお渡ししたものにつきましては、本日ご持参いただくようお願いをしておりますが、お忘れの方などがおられましたら、お申し付けください。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、資料の確認をさせていただきます。

まず、本日の次第、右肩に番号を付した資料1から資料3、資料4はアンケートの調査票が4種類、それぞれ資料の4-1、4-2、4-3、4-4となっております。次に、資料の5は5-1と5-2に分かれたものとなっております。

次に本日机上で配付した資料でございますが、策定会議の構成員名簿、席次表、それから本会議の開催要綱と傍聴要領、また、資料3 計画策定スケジュール、これは修正が少しございましたので、事前にお送りいたしました資料3との差し替えのほうをよろしくお願ひいたします。

最後に、現在計画期間中の第7期障がい者計画等の冊子となります。

以上が本日の会議資料となります。

それでは次第に沿って、進めさせていただきます。

次第の1、まず初めに開会にあたりまして、健康福祉部長の臼井よりご挨拶申し上げます。

事務局 皆さん、おはようございます。健康福祉部長の臼井でございます。

本日は大変お忙しい中、本会議に御出席をいただきまして誠にありがとうございます。また日頃から本市行政に格別のご理解とご協力を賜っておりますことに対し、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

さて、我が国では、昭和45年に障害者基本法の前身にあたる心身障害者対策基本法の制定を皮切りに、様々な法整備、及び、制度設計が進んでまいりました。本市におきましても、障がいのある方の地域での生活支援、また、障がいのあるお子さんの可能性を伸ばすため、切れ目のない支援などを柱として位置付けて、総合的、計画的に各種の障がい福祉施策に取り組んでいるところでございます。こうした取り組みの指針となるものが、この障がい者計画などであり、様々な課題に対して、より実効性の高い取り組みとするためには、医療、介護、福祉、地域、職場などの各分野が垣根を越えて、そして、顔の見える関係の中で、相互に連携協力することが、何より重要であると考えております。

	<p>どうぞ、皆様には、幅広い視点からお気付きの点など、忌憚のないご意見をいただきますようお願いを申し上げまして、甚だ簡単ではございますが、私の冒頭挨拶とさせていただきます。</p> <p>皆さん本日はどうぞ、よろしくお願ひいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、次第の1、(2)の構成員、事務局紹介でございます。本日は第1回目の会議ということで、皆様初めての顔合わせでありますので、順番に自己紹介をお願いしたいと思います。</p> <p>初めに、三橋様の列のほうからよろしくお願ひしたいと思います。その後に、林様の列ということで、よろしくお願ひします。</p> <p>お名前と所属団体のみで構いませんので、ご起立の上、三橋様のほうから、よろしくお願ひいたします。</p>
各構成員	＊＊　自己紹介　＊＊
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、本日出席しております事務局の職員ですが、健康福祉部、こども子育て部の順番で自己紹介をいたします。</p> <p>私と健康福祉部長の臼井は挨拶をしておりますので、それ以外の職員について、自己紹介をよろしくお願ひいたします。</p>
事務局	＊＊　自己紹介　＊＊
事務局	<p>以上のメンバーで事務局を務めさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、次第の2、座長、職務代理者選任に入ります。</p> <p>本日配付した本会議の開催要項をご覧ください。</p> <p>要項中、第4条に規定がございますが、策定会議に座長を置き、座長は構成員の互選により定めることとなっておりますので、これに基づきまして座長を選任するものでございます。</p> <p>では、どなたか、立候補またはご推薦のご指名があれば承りたいと存じますが、いかがでしょうか。</p>

	はい、齊藤様、どうぞ。
齊 藤 委 員	<p>推薦ですが、障がい福祉についての深い見識をお持ちの、名古屋経営短期大学の三橋先生を推薦させていただきますと思いますが、いかがでしょうか。</p>
事 務 局	<p>ありがとうございます。名古屋経営短期大学の三橋先生に座長をお願いしたいというところでございますが、皆様ご賛同いただけますでしょうか。</p> <p>ご賛同いただけます方は、拍手をもってお願ひいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは座長は三橋先生ということでお願いをいたします。</p> <p>三橋先生、恐れ入りますが、座長席のほうにご移動のほうをよろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、開催要綱第4条第2項の規定によりまして、座長が会務を総理するとしております。職務代理者の選任並びに、以降の議事の進行につきましては、座長にお願いをしたいと思います。三橋先生よろしくお願ひいたします。</p>
座 長	<p>座長にご指名いただきました三橋です。どうぞよろしくお願ひいたします。座らせていただいて、進めています。</p> <p>まず初めにですけれども、議題に入る前に、開催要綱第4条第3項の規定により、座長不在の場合、座長があらかじめ指名する構成員がその職務を代理することになっておりますので、まず初めに、私の職務代行者を指定させていただきたいと思います。</p> <p>座長の職務代理者を尾張旭市社会福祉協議会の星原様にお願いしたいのですが、よろしいでしょうか。</p>
星 原 委 員	はい。星原でございます。皆様どうぞよろしくお願ひいたします。
座 長	<p>よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、早速、議題に入らせていただきます。</p>

	<p>本日の会議ですが、11時半の終了目途に進めてまいりたいと思いますので、皆様のほうからは忌憚のないご意見とご協力をお願ひします。</p> <p>また、発言にあたっては会議の進行上や会議録の作成上、恐れ入りますが挙手の後、指名を受けてからお願ひしたいと思います。</p> <p>それでは、議題の(1)、議題の(2)については、事務局から一括で説明をしていただいた後に、質問等の時間を設けたいと思います。</p> <p>それでは、議題(1)、議題(2)の説明をお願いいたします。</p>
事務局	* * 説明 * *
座長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま議題(1)、議題(2)につきまして、説明がありましたが、内容等についてご質問がありましたら、ここで挙手の上、ご発言をお願いいたします。</p> <p>村田委員お願いします。</p>
村田委員	<p>はい。障がい者基幹相談支援センターの村田です。</p> <p>前に出ている話かと思いますが、アンケートの回収率が年々低下しているという点について、低下している理由は、事務局のほうではどう分析されているのかをお聞かせいただければと思います。</p>
座長	事務局いかがでしょうか。
事務局	<p>はい。回収率の低下については、個人情報の関係で、あまり自分の意見をそこに出さないですとか、そういったところもあるのではないかと考えております。</p> <p>しかしながら、基本的なアンケートに答える層というのは、必ず答えていただいていると思います。例えば郵送調査がWebアンケートに変わったとしても、その郵送調査にいつも答えていただいている方はWebアンケートに乗り換えたりということで、Webアンケートを実施することで、より減少を食い止めて、向上を目指したいと</p>

	考えております。
座 長	よろしいでしょうか。
村 田 委 員	ありがとうございます。
座 長	他にいかがでしょうか。 大竹委員、よろしくお願ひします。
大 竹 委 員	身障協の大竹です。策定のポイントの中で、取り組みで一般市民のアンケートが500件とかあるんですけど、障害者手帳所持者というのは、全数対象なのか、ピックアップしているのかちょっとお聞きしたいです。
座 長	事務局お願ひいたします。
事 務 局	障害者手帳をお持ちの方、大人の方と子どもの方に向けては全数の調査をさせていただいて、こちらに書かせていただいている500件については、障害者手帳をお持ちでない方、市民の方へ無作為抽出の500件となります。またアンケートの議題のところでもご説明させていただきたいと思います。
座 長	よろしいでしょうか。 他にございますでしょうか。 齊藤委員よろしくお願ひします。
齊 藤 委 員	ちょっと目安で知りたくて、アンケートの回収状況は以前はどれぐらいだったか教えていただけます。
座 長	事務局お願ひします。
事 務 局	はい。前回の回収状況ですが、障がい者の方に対する調査については49.5%の回収率で、障がいのある子どもさんは42.6%

	で、一般の500件の調査については40.8%、事業所の調査が36.8%という結果になっています。
座長	ありがとうございます。よろしいでしょうか。 他にございますでしょうか。 竹田委員お願いします。
竹田委員	地域アドバイザーの竹田と申します。 策定会議には、何度か出席させていただいているんですけども、せっかく市民の公募委員の方が出ていらっしゃるんですが、この意味がわかったのかなと。難しいと思うんですよね。我々は読み慣れていますが、どういうことを聞かれているのかわかったのかなと。みんなが一緒にスタートラインがいいと思いまして。
座長	はい、ありがとうございます。 事務局いかがでしょうか。
事務局	いわゆる福祉団体の皆さんだけではありませんので、なるべく平易な言葉遣いと、なるべくご意見、ご質問のお声が上げやすいように、間でご意見を伺えるように、公募の方は特にですね、フォローするように努めていきたいと思います。
座長	森内委員、お願いします。
森内委員	森内です。策定の部分は大きな計画案というところで、正直、全体把握は少し難しいと感じているところがありますが、今回の議題としてはアンケートがメインになってくるので、アンケートの部分の内容を先に読ませていただき、ちょっと気になるなっていう、一般市民目線というような形で、答えづらいなとか、答えやすそうだなという点を見させていただいている。計画の策定という点ではついていけっていない部分はもしかしたらあるかもしれないんですけども、事務局のお話でしたりとか、構成員の方達のお話とかを聞きながら、こちらのほうでも理解を深めていきたいなと思ってい

	るところです。
座 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>小高委員お願いします。</p>
小 高 委 員	<p>小高と申します。よろしくお願ひします。</p> <p>そうですね、会議に参加することによって、こういうアンケートが取られていたということも初めて知りました。このアンケートを先に読ませていただいたときに、やはり選択する箇所もあれば、記載する箇所も割と多めに取られていて、日々忙しい仕事の合間では、とても大変な負担にもなるから回収率が減るのかなと思います。</p> <p>いち市民として、手帳を所持していない一般市民が無作為にアンケートを送られてきたときに、なかなかアンケートを書くっていうのがとても難しいのかなと思うんですけど、Web上とかで、できるだけ参加しやすいようにという方針を掲げているということで、本当に知らないことが多くて、資料に関して、わかる面とわからない面もあるんですけども、すべてがわかるとも言えないですしわからないとも言えないんですけども、参加することによって理解を深めてご協力できる範囲でご協力の意見を述べることができたらいいなっていうのが、今お答えできる意見です。</p>
座 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>竹田委員いかがですか。</p>
竹 田 委 員	<p>そういうのが聞けてよかったです。ぜひ言っていただけると嬉しいと思います。</p>
座 長	<p>どんどん質問していただけると助かります。</p> <p>また、事務局のほうも申し上げていたとおり、わかりやすい言葉ですか、そういったものを使いながら、皆さんと一つ一つ理解を深めていきながら進めていきたいと思います。</p> <p>確かにアンケートの回収率というところは、本当に悩ましいところ</p>

	<p>ろで、直近ですと、国勢調査の回収率も、なかなか難しいというところもありましたので、その辺も考えていきたいと思います。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p> <p>それでは、他にご質問がないようですので、次の議題に移りたいと思います。</p> <p>次に議題（3）、アンケート調査について、まずは事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>議題の（3）につきましては、サーベイリサーチセンターの杉田様からご説明をさせていただきます。</p>
(株)サーベイリサーチセンター	<p>* * 説明 * *</p>
座長	<p>一旦ここで区切らせてもらってよろしいでしょうか。</p> <p>アンケートの内容が、種類もいくつか多いですし、ボリュームもありますので、一旦ここで中断して、皆様のほうからのご質問の時間に確保したいと思います。</p> <p>それでは、少し分けて質問を取っていきたいと思います。</p> <p>まず最初の資料4－1 市民、それから資料4－2 の児童、まずはこの2つのアンケートにつきまして、委員の皆様のほうからご質問ありましたらお願いいいたします。</p> <p>大竹委員お願いします。</p>
大竹委員	<p>身障協の大竹です。</p> <p>アンケートを見させていただいて、まず最初にちょっと思ったのが、資料4－1なんですが、頭にアンケートについてのお願いがありまして、市民とあります。これが市民対象かなと思って見たところ、2ページ目に行くとあなたの障がいの種類、等級など教えてくださいとあります。これは障がい者に対することなんだなということを思いましたので、ちょっと表現がおかしいのかなと思って。先ほど策定計画のポイントの中でも、障害者手帳所有者という言い方</p>

	<p>をしていいますので、そういう言い方したほうがわかりやすいかなとはちょっとと思いました。</p> <p>あとアンケートの中で何点かあるんですけど、これ全部言っちゃってもいいですかね。一つ一つ言ったほうがいいですか、それとも全部まとめたほうがいいですか。</p>
座 長	では、一つ一つお願ひします。
大 竹 委 員	<p>障がい当事者ですので、おそらくこのアンケートがまた来るんだなと思って内容を確認させていただきました。まず5ページですけど、「日中の活動についておたずねします」というのがありますて、自分がどれに当てはまるかなということで進めていったところ、ちょっと当てはまるものがないということで、強いて言えば「いずれにも該当せず、自宅にいる」ということしかないんですが。そうすると、「問24へ」ということになります。「自宅にいると答えた方の主な理由は何ですか」になるんですけど、またこれも当てはまる項目がないんですよね。ここには「その他」とありますので、ここには書き込めるわけですね。私、実は仕事しているわけでもなくて、通所サービスとかそういうものを使っているわけじゃなくて、なかなかこの項目だと難しいなど。先ほども質問したんですけど、障害者手帳所持者に全部出すということで回答はあつたんですけど、そうすると、私みたいな比較的軽度な障がい者がなかなか回答が難しい項目になってしまっているので、あくまでも本当に重度で活動しにくいとか、動けないという方が対象になっているのかなということで、質問させてもらっているところです。ちょっと話が脱線しました。</p> <p>先ほどの5ページですけど、実はこの項目で、4-2の児童にも同じような項目があります。4-2の5ページに、「日中の活動についておたずねします」とありますて、ここは一番下に「その他」という項目が入っているんですよね。4-1の障がい者アンケートに行きますと、ここに「その他」がないものですから、なかなか書きにくいなど。ここにあれば好きなことを書けるなと思いました。</p>

座長	事務局いかがでしょうか。
事務局	ご指摘のとおりだと思いますので、そのようにさせていただきます。
座長	ありがとうございます。 大竹委員、引き続きお願ひします。
大竹委員	次にですね、6ページで、先ほど言ったんですが、「いずれも該当せず自宅にいると答えた方」ということで、「主な理由は何ですか」とありますて、この中で、これは言い方悪いかも知れないんですけど、「働きたくないため」というのは、本当に大きなお節介だなと思いますけど、この点はどうなんでしょう。
座長	事務局いかがでしょうか。
事務局	こういった表現については、もう一度、事務局内や座長と協議して検討したいと思います。
座長	よろしいですか。 大竹委員、引き続きお願ひします。
大竹委員	続きまして7ページなんですが、「主に日中をどのように過ごしたいですか」って、ここには「その他」とあるんですけど、なかなかこれも軽度の人は難しいかなと思っています。これは今後検討いただければいいかと思います。 それから9ページですね。社会参加についておたずねしますということで、いくつか項目もありますが、これも表現の仕方だけだと思いますが、2番の「趣味などの文化・芸術活動」とあるんですが、私も趣味でいろいろ出かけたりいろいろな情報を得ているんですけど、その趣味が全部「文化・芸術活動」に当てはまらないんですけど、これはあえて絞った表現だと思ってますが、その辺

	はどうなんでしょうか。
座 長	事務局いかがでしょうか。
事 務 局	はい。文化・芸術活動に限らないということだと思います。こちらの文言につきましては、再度検討いたしますので、よろしくお願ひいたします。
大 竹 委 員	ありがとうございました。
座 長	その他、ご質問、まず市民・児童の分野のところ。 村田委員お願いします。
村 田 委 員	<p>基幹センターの村田です。</p> <p>一番最初でも竹田委員の話があったんですが、まず障がい者計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画が一体どういったものなのかを、もう少し具体的に説明した内容のものも、あわせて送付するということが必要かなと感じたところと、フォントなんですが、今、ゴシック丸文字等を使っていますけれども、UDフォント、ユニバーサルデザインフォントがあるので、そちらを使ったほうが、発達障がいの方とかが読むのに負担が少ないのかなと感じました。</p> <p>あともう1つ、4-1の「障害福祉サービスなどについておたずねします」とありますが、「現在、サービスは利用していますか」という質問から始まっているんですが、基幹センターの窓口に相談に来られる方で、障害福祉サービスそのものを知らないという方が割とおられます。相談に来られる方が。障害福祉サービスを知っている体での質問ではなくて、まず障害福祉サービスを知っているかどうかという質問を入れたほうがいいのではないかと思いました。</p> <p>以上です。</p>
座 長	事務局いかがでしょうか。
事 務 局	ご意見いただいた、「計画とは」という点は、確かに置いてけば

	<p>りなアンケートになっていると思いますので、何か1枚差し込むか、アンケートの表現を少しフォローするか、検討させていただきたいと思いますし、フォントについても、ご指摘のとおりと思いますので、事務局内で検討していきたいと思っております。</p> <p>3点目の障害福祉サービスをそもそもご存じないという方という点も、事務局で預からせていただいて、前向きに検討したいと思います。</p>
座 長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>その他、ご質問ございますでしょうか。</p> <p>森内委員お願いします。</p>
森 内 委 員	<p>児童の部分だと、親がアンケートを答えることが多いと思いますが、封筒の宛名の方を「あなた」とに表現されていますが、これは実際に児童の場合だと、親宛に来るのかそれとも児童宛に来るのかをお伺いしたいです。</p>
座 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>事務局いかがでしょうか。</p>
事 務 局	<p>もっともなご意見と思います。宛名はお子さんの、ご本人さんのお名前。あくまでご本人さんのご意思を尊重という形をとらせていただきたいので、現実的に親の方が代筆をされるというケースが想定されるとは思いますが、目線として、配布は本人さんという形でさせていただきたいと思います。</p>
座 長	<p>よろしいでしょうか。</p>
森 内 委 員	<p>他にも何点があるんですけど。</p>
座 長	<p>はい、お願ひします。</p>
森 内 委 員	<p>申し訳ありません。</p>

	<p>あともう一つ、私達のような世代は多分 Web アンケートで答えると思うんですけども、これだけ長いものなので、子どもを見ながら一気に答えることが難しく、途中保存が必ずできるものにお願いしたいです。</p> <p>3 ページ目の「主に支援てくれる人はどなたですか」という点で、訪問看護の方や、ヘルパーの方に頼ってらっしゃる方もいらっしゃるので、病院の職員はあまりないのかなと思う部分なので、この選択肢をちょっと考えていただけたらと思います。こちらのほうは成人の方にもお願いします。</p> <p>4 ページ、「現在、病院などでなんらかの治療を受けていますか」というところで、今通院もしていて、往診も受けている状況だと、丸は一つとなるとどちらに丸をつければいいのかなと迷うので、この部分を考えていただければと思います。</p> <p>次の問 16 で、「現在、精神科（神経科、診療内科、小児科）」と書いてありますが、精神科を受けているかを聞いているのか、それとも、この括弧の中の科を聞いているのかが表現としてわかりづらくて、小児科は全般的ですし、神経科というのはてんかんなどの精神状態のほうじゃないことも入ってくると思うので、こここの部分もどうかなと。</p>
座 長	<p>貴重な意見ありがとうございます。</p> <p>事務局いかがですか。</p>
事 務 局	<p>言われるとおり、精神科に限ったことではないものですから、表現を改めさせていただきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。</p>
座 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは時間の関係で、次の、一般のほうでご質問ございますでしょうか。</p> <p>それでは、次に進めさせていただきます。</p> <p>では資料 4－4 の事業所のほうですね、続きをお願いいたします。</p>

<p>(株)サービスセンター</p>	<p>* * 説明 * *</p>
<p>座 長</p>	<p>ありがとうございます。 では、お話しいただきました事業所のアンケートについて、質問等がございましたら挙手の上、ご発言をお願いいたします。 遠藤委員お願いします。</p>
<p>遠 藤 委 員</p>	<p>瀬戸公共職業安定所の遠藤です。 問2の事業所の常用従業員数というところです。前回のアンケートを使って作られていると思いますが、法定雇用率が2.3%だった時代にこの数字を作られたんじゃないかと思うんです。選択肢の3と4のところが、30人～43人、44人～99人なので多分、2.3%みたいな数字になっていると思うので、今は2.5%になっておりますので、39と40で区切っていただければと思います。 もう一つよろしいですか。</p>
<p>座 長</p>	<p>はい、どうぞ。</p>
<p>遠 藤 委 員</p>	<p>問4と問6のところですけれども、やはり基本的に手帳所持者の方を前提に進められていたんですが、ここで「上記以外の障がい」というのが出てくるんですね。多分手帳をお持ちでない難病の方ですとか、手帳のない発達障がいの方とかを想定されているんじゃないかなと思うんですが、それでよろしいですよね。その辺りの説明ってこのアンケートに一切出てこないので、これを見た方が何のことかわからないんじゃないかと思うので、その辺りの説明をどこかに加えていただければと思います。 私のほうからは以上です。</p>
<p>座 長</p>	<p>事務局いかがでしょうか。</p>

事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>1点目の法定雇用率の部分のところは、ご指摘どおりだと思いま すので、数字を改めさせていただきまして、問4のほうも、こちら もご指摘どおりだと思いますので、表下段の米印の辺りか、あるいは 設問でわかるように、読み取れるように改めたいと思います。</p>
座長	<p>ご指摘ありがとうございました。</p> <p>それでは村田委員、お願ひします。</p>
村田委員	<p>基幹センターの村田です。</p> <p>令和6年度の障害者雇用促進法の法改正の内容についても、この アンケートで触れる必要があるのではないかと思っております。令 和6年度の雇用促進法、短時間労働での障害者雇用が増えているか どうか。その改正の部分についても把握されているかどうかの質問 はここに入れておいたほうがいいのではないかなと思います。</p> <p>以上です。</p>
座長	<p>ありがとうございます。</p> <p>事務局いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>ご意見を事務局のほうで検討させていただきたいと思いますの で、ありがとうございます。</p>
座長	<p>小高委員お願ひします。</p>
小高委員	<p>選択するところに、「丸はいくつでも」という項目もあれば、 「丸は5つまで」と書いてあるものもあるんですけども、5つま でと絞るということは、絞ることによって、優先したいものがわか りやすいから5つまでとしているのか。5つまでと、いくつでもと いう違いを知りたいなと思いました。</p>
座長	<p>事務局いかがでしょうか。</p>

事務局	<p>8ページの設問16については、期待したことすべてに丸を付けていただいてもいいんですけども、特に優先する5つまで、絞つていただいてということで、5つにしております。</p> <p>他のところで、いくつでも、というところもありますが、そこは7ページですとか、こちらは、課題的なところはたくさん出てきていただいてもいいことですので、広く丸はいくつでも付けていただきたいと思います。</p> <p>あと7ページの問15についても、これも必要な施策はどんな施策があるかということで、すべて挙げていただきたいということで、いくつでもという表現となっていて、質問ごとに、そういう意図があるものでございます。</p>
小高委員	ありがとうございます。
座長	大竹委員お願いします。
大竹委員	<p>先ほど職業安定所の方から障害者雇用率の話が出たものですから、この点の確認でもいいですか。</p> <p>先ほど法定雇用率が2.3%から2.5%に上がったということがあつたんですけど、確かに来年度はまた2.6%に上がるんじゃないかなと思うんですけども、その辺はどうですか。</p>
座長	遠藤委員、よろしいですか。
遠藤委員	はい。来年の7月から、一般の企業は2.7%に上がる事が決まっております。
大竹委員	その時には会社の規模の人数というのは変更はあるんでしょうか。
遠藤委員	この規模は今2.5%なので、計算すると40人雇っていると1人は雇っていないということでこの数字になっているので、今回ではなくその次のアンケートのときには2.7%をもとにこの数字を計

	算し直すことになるかなと思います。
大竹委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>今度は事務局に質問ですが、その辺りのこともここに加えておいたほうが事業者さんもわかりやすいかなと思いますので、ぜひとも加えていただきたいと思います。</p>
座長	事務局いかがですか。
事務局	法定雇用率の件は先ほどの村田委員の雇用促進法の件と合わせて、企業のほうにお伝えすべきかなと思いますので、前向きに記載を検討したいと思います。
座長	大竹委員よろしいですか。
大竹委員	はい。ありがとうございます。
座長	<p>ちょっとお時間の関係で、次の議題に移させていただきたいと思います。</p> <p>最後の議題となります。議題（4）、障がい福祉サービス事業所へのヒアリング調査について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	こちらの議題につきましても、コンサルタントのサーベイリサーチセンター杉田様からご説明いただきます。
株式会社サーベイリサーチセンター	* * 説明 * *
座長	<p>一度よろしいですか。</p> <p>5－2に移る前に、ここで一旦、質問タイムということで。ただいま説明がありました、資料5－1、サービス提供事業所用のアンケートにつきまして、ご質問がありましたらお受けいたしたいと思</p>

	<p>います。</p> <p>近藤委員、お願いします。</p>
近 藤 委 員	<p>楽田の近藤です。お願いします。</p> <p>資料 5－1 にも 5－2 にも共通することなんですが、なぜ今までの資料 4－1 からに関しては Web 回答が用意されているのに、こちらはないのかなというのが気になって質問させていただきました。</p>
座 長	事務局いかがでしょうか。
事 務 局	<p>こちら、深い意図はないんですけども、実際市民の皆さんアンケートについては、より回収率を上げるという目的で Web を活用しているんですけど、関係団体の皆さんですとか事業者様については一応紙ベースで、調査を依頼させていただきたいと思っています。</p>
座 長	近藤委員よろしいでしょうか。
近 藤 委 員	<p>ちなみに Web でやるのは難しいですかね。正直言うと個人的には回答しやすいです。自由回答の部分が多いので、やっぱり Web の方が修正もしやすかったりですとかあるので、もし可能であれば。</p>
事 務 局	わかりました。
座 長	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>その他ございますでしょうか。</p> <p>村田委員、お願いします。</p>
村 田 委 員	<p>基幹センターの村田です。</p> <p>近藤委員と話が近いんですけども、アンケートの回答はかなり負担だと思います。「課題に思っていること」の設問も、具体的な課題が挙がってくる感じがあまりしないっていうのは、ちょっと自分の肌感的な話になってしまいますが。ちょっと感じたので、もう少し何か工夫ができないのかなと。あとやはり事業所さんにも Web の</p>

	<p>回答はあったほうがいいと思います。</p> <p>あともう1つ、各分野ごとの課題の中で権利擁護があるんですけども、おそらく権利擁護、意思決定支援の話になってくると思いますが、まず、もしここに加えることが可能ならば、そもそも意思決定支援ガイドラインを知っているのか。障がい児支援だったら最善の利益の優先考慮の手引きを知っているのか。それを活用して支援をしているのかという質問を入れていただきたいと思っています。</p> <p>以上です。</p>
座長	<p>ありがとうございます。</p> <p>事務局いかがですか。</p>
事務局	<p>自由意見について、これが活用されるのかという点なんですけど、前回はかなりたくさん書いていただいて、こういう施策につなげていくと良いとか、具体的な提案とか。事業所の皆さんや団体の皆さんから、自由意見の文章をたくさん書いていただいて、それは実りあるものだったと思いますので、ぜひ継続して続けさせていただきたいと思います。</p> <p>権利擁護の質問については、一度確認させてください。</p>
村田委員	大丈夫です。
座長	時間の関係上、次の関係団体用のアンケートについて事務局からお願ひいたします。
(株)サービスセンター	* * 説明 * *
座長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今の関係団体用アンケートにつきまして、ご質問がありましたらお受けしたいと思います。</p> <p>それでは、質問等がないようですので、議題はここで終了したいと思います。</p>

	<p>それでは次第4、その他に入ります。</p> <p>その他としまして、全体を通して何かありましたらご発言をお願いします。</p> <p>ちなみにまだご発言いただいていない、糸川委員、安藤委員、林委員、一言ずついかがでしょうか。今までのところで何か感想とかご意見とかござりますか。</p>
糸川委員	<p>障がい者計画そのままだとなかなか難しいので、理解しがたいところがあるんですけども、アンケートをしていただくことによって、少しは理解が深まることがあるのかと思いますので、こうしたアンケートを通じて課題が見つかればと思います。</p>
座長	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、安藤委員。</p>
安藤委員	<p>安藤です。</p> <p>私も子どもがいる母親なので、当事者の母です。市民団体もやっているので、それにも関わっているんですけど。重い障がいの方だと、障がい当事者の意見、その方がお答えするのってすごく難しいなと思うんですね、意思表示ができなかつたり。そうすると、支援している方の意見になりがちなのかなと感じています。</p> <p>例えば、児童のところで言うと、私のところは、息子はおそらく意思を伝えることはできると思うんです。ただ、母親としてこれだけボリュームがあるものを全部答えるのは、私自身も大変だし、息子自身も大変だなって思うと、もうこの質問が来ても、息子に聞くのはちょっと大変だな、母親の私の意見を書こうかなってなることがあるので、そこら辺が当事者の意見よりも、支援者の意見になりがちだなっていう、質問でも何でもない私の感想です。</p>
座長	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>そうしましたら、林委員。今までのところで感想でも意見でもどちらでも。</p>

林 委 員	<p>少しわからない文章もあるんですよね。私、ろう者として回答する場合、ちょっと合わないような質問もありましたので。</p>
座 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>合わないような質問とかがないように検討していきたいと思います。よろしくお願ひします。</p> <p>それでは、星原委員、ご意見いただいていいかと思うので、何かありましたら。</p>
星 原 委 員	<p>星原です。</p> <p>事業所のアンケートで Web 回答を検討していただけるというお話をしたので、関係団体のほうも併せてお願ひしたいなと思います。</p> <p>また、村田委員からもお話があつたんですけども、自由記載、確かに大事なことだと思います。この計画の中にもたくさん自由記載の内容があって、おっしゃる通り、ボリュームのある内容で、読み応えのあるものなんですけれども、それ以外でもですね、これは選択肢としてあつたほうが、より差別化を図れて検討しやすい、あるいは計画に反映しやすいというものがあるようでしたら、選択肢を設けていただきて、それ以外のところでまた自由記載があるといった内容ですと、より答えやすかったり、あるいは集計しやすかったり、分析しやすかったりということがあるかなと思いますので。もしそういうことが可能でしたら、座長の先生とまた、お知らせしていただければと思います。</p> <p>以上です。</p>
座 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>時間も 12 時ちょっと前になりますて、最後、これだけ言わないと帰れないという方がいましたら。</p> <p>まず齊藤委員から、お願ひします。</p>
齊 藤 委 員	<p>このアンケートは、以前も利用者さんを支援する側として書かせてもらって、先ほど安藤委員が言われたように、本人さんがなかなか理解するのが難しくて、60 項目もあるので、相談員として 1 時</p>

	<p>間以上。1個1分でも長いので、2時間くらいかかります。本当に途中保存も必要だし、解釈をさせていただくのに伝わらなくて回答できなかつたり、こちらの思いで書いているような感じになつたりってこともあるので、非常に難しいので議論が必要なんだなというふうに思いました。それがやっている時の感想でした。施設の方も内容の意味がわからないというのが多かったので、その辺もわかりやすく伝えるのが必要なのかなと思いました。</p> <p>また、障がいの当事者の方向けのアンケートで、さっき大竹構成員が言っていたようにサービスにつながってない方というか、自宅で過ごしている方で、サービスにつながらなくてそのまま自宅にいらっしゃる方って、どうやって選ぶのかなと。「その他」の部分か、合う仕事がないか、働きたくないか、合うサービスがないからとか、支援が得られないというような内容に変えていただくといいのではないかということと、あとは「今利用しているサービスに満足か」というのは、どこかで聞いてもいいのかなと。最後に自由記述があるのでいいんですけど。サービスを使っていても、送迎とか1時間ぐらい乗っている方もいたりするので、そういった方はどうやって書くのかなというところがあるので、今利用しているサービスについて書ける項目なんかがあると、少し参考になるんじゃないかなと思っておりました。</p> <p>以上です。</p>
座長	<p>ありがとうございます。</p> <p>齊藤委員のご質問、事務局のほうからいかがですか。</p>
事務局	<p>サービスをそもそも利用になればご在宅というところは、大竹委員のお話もそうでしたし、村田委員からの、そもそもサービスをご存じないという方というお話にも通ずることかなと思いますので、そもそもそういう制度がきちんと周知がされていて、選べる状態にあるのか、利用されているのかしていないのか。そういうところまで目線を落とした資料になつていないのかなと思いますので、アンケートを俯瞰して見てみたいと思います。</p>

座長	<p>よろしくお願ひします。</p> <p>じゃあ、竹田委員。</p>
竹田委員	<p>感想というか、抱負になるんですけど、今回アンケートを見ていて、前回も策定会議に出させていただいた後、思い出したんですけど、このアンケートは、要するに期待があるから、書く、答えるということだと再認識しました。今日は使われなかつた冊子のほうですけど、67ページとか見ていて、あと災害のところを見ていて、ちゃんと書いていたなっていうところを見まして。これは計画には関係するところしないところありますけど、改めて、これは実際に協議会で見直すべきだなど。関係事業者の団体の皆さんも、我々もですけど、見直して、本当に日頃に生かしていかないから、言っていないこともあるから、期待が持てないから書かないっていうことも聞きますので、私たちでもそうですけれども。今日、実は午後から圏域の中で基幹型の方に集まっていたので、毎月リモート会議しているんですけど、そこでも話をします。是非、協議会でもですね、各部会に関係するところだけでも配っていただけたら、それはそれでいいんじゃないかなと思いますので。</p> <p>以上です。</p>
座長	<p>ありがとうございます。</p> <p>お時間の関係でその他のところをここまで終了させていただきます。</p> <p>引き続きまして、事務局から連絡事項がございましたらお願ひします。</p>
事務局	<p>事務局から2点連絡事項がございます。</p> <p>1点目、アンケートの調査票についてですが、本日とてもたくさん発言いただいたありがとうございました。言い切れなかったことですとか、追加でやはり言いたいというご意見がありましたら、期限が短くて大変申し訳ないんですけども、来週21日の金曜日までに地域福祉課障がい福祉係までご連絡いただければ、お電話でも、メールでも結構ですのでご連絡いただければと思います。この</p>

座長	<p>アンケートの最終的な内容につきましては、皆様のご意見を踏まえた上で、座長と協議いたしました上で決定させていただきますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>2点目ですが、次回、第2回の策定会議につきましては、大分先となってしまいますけれども、来年の8月頃を予定しております。開催日が決定次第、皆様にご連絡させていただきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>連絡事項は以上になります。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、次回第2回の策定会議なんですが、来年度で少し期間が空きます。構成員の皆様におかれましては、お手元の第7期障がい者計画等の中身を読み込んでいただき、そのご感想やご意見を次回の策定会議にお持ちいただけたらと思います。</p> <p>それでは、以上をもちまして第1回尾張旭市第8期障がい者計画、第8期障がい福祉計画、第4期障がい児福祉計画策定会議を終了いたします。</p> <p>私の不慣れな司会進行で、ご迷惑をおかけした部分はあったかと思います。</p> <p>本日はお忙しい中、長時間にわたりまして、お疲れ様でした。</p> <p>ありがとうございました。</p>
----	--